

みんなの町議会



目次

- 定例会の経過 2~3
- 陳情と意見書 4
- 臨時会・全員協議会 5
- **決算特別委員会 6~7**
- 常任委員会の焦点 8~9
- **一般質問に6名登壇 10~16**
- あれ なんと なった べが！ 17
- **よぐきて けだな ・ がんばって ます 18**

No.144

2020年10月1日

長雨と酷暑を乗り越えて

口ナ対策

第4弾

9月

定例会

議会の経過

9月定例会は前回同様議席の間仕切り、マスク着用、換気、参加の出席は必要最小限、傍聴席のソーシャルディスタンス確保など、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応を施したうえで、9月8日から18日まで11日間の日程で開かれた。



感染拡大防止対策を施した議場

初日 開会に先立ち、佐々木仁茂・畑澤洋子・斎藤晋・石井光雅議員に対し南秋田郡町村議会議長連絡協議会より自治功労表彰が授与された。

続いて渡邊町長が行政報告で、『新型コロナウイルス感染症対策、地域公共交通、地域活性化支援センター、避難勧告、火葬場改修計画、子育て世代包括支援センター、小学校改築』などについて述べた。その後、委員6名を選出し決算特別委員会を設置。

2日目 一般質問には6名が登壇。治水対策、農林業地元企業の振興と若手育成、新型コロナウイルス感染症対策、ハザードマップ、子育て世代包括支援センター、空き家対策などを質問した。

3日目 当局より、令和2年度補正予算案、避難所備蓄品や小学校備品購入の契約など16件の議案と4件の報告案件が上程された後、議案を各常任委員会で審議。

7・9日目 決算特別委員会で各課室の令和元年度決算について審査。

10日目 決算特別委員会
現地視察をおこなった後、審査総括。

最終日 決算特別委員長、各常任委員長報告のあと認定、可決、同意、陳情2件を全会一致で採択した。

館岡隆議員から、『町長の町政運営の見通しについて』緊急質問の申し出があり、発言許可の賛否を起立採決ではなかったところ、賛成少数で否決とし閉会した。

賛成…館岡 隆・石井 光雅
畑澤 洋子・工藤 途子
反対…荒川 正己・佐藤 重信
伊藤 正春・斎藤 晋
佐々木仁茂・荒川 滋
椎名 志保・松浦 真
工藤 政彦

可決・認定の主な内容

●物品売買契約締結
(700万円以上の契約締結には議会の議決が必要)

●避難所用備蓄品
防災用テント、エアーマット他
1,775万円

●小学校施設用備品
机・イス
2,725万円

●スチール棚、演台他
1,441万円

●タブレットPC500台
6,196万円

●令和元年度各会計決算認定(P6)

(荒川 滋)

町独自の新型コロナ

新型コロナウイルス感染症 インフルエンザ予防接種

今定例会で審議した
補正予算の主なもの

・公園管理費

雀館公園街灯改修、グラウンド
改修設計料 408万円

・ため池等整備事業

ハザードマップ作成調査

370万円

・事業所改修事業補助金

シャッター、空調などの改修に
一件あたり上限50万円補助

350万円

・街路維持補修事業

馬城橋歩道補修など

321万円



安心な歩道整備を

■新型コロナウイルス関連

・健康づくり応援事業

全町民対象インフルエンザ
予防接種無料クーポン発行

3,935万円

・救急業務対策事業

感染防止衣、非接触式体温計、
エアテントなど購入

1,118万円

・Web会議等対応機器整備事業

システム使用料、
職員用タブレットPC90台購入

1,029万円

・地域図書室整備事業

図書整理システム導入、
図書購入、間仕切り購入など

512万円

教育委員会委員の
任命に同意

再任



八木下真全氏
(52歳)
築地町

再任



佐藤卓男氏
(72歳)
西野

教育委員4名のうち、今年の
9月30日が任期の2名を任命。
毎月会議を開催し、町の教育
の発展のため尽力いただいでい
る。
任期：4年

議会選出の
選挙管理委員会委員

再任



畠山利信氏
(72歳)
千日

再任



新谷研逸氏
(72歳)
米沢町

再任



本間重春氏
(66歳)
舘越

新任



伊藤敏雄氏
(76歳)
野田

補充員

再任

石井

忠氏 (73歳)

再任

小熊

弘一氏 (73歳)

再任

齊藤

陽子氏 (72歳)

新任

渡邊

律雄氏 (63歳)

任期：4年間

陳情と意見書

採択

◆森林環境譲与税を活用した森林整備の推進などに係る陳情書

陳情者

五城目森林組合代表理事

組合長 石井 一夫



森林整備推進で地域活性化の実現を

9月定例会で2件の陳情を採択しました。そのうち1件と別件1件の意見書を各関係機関に提出しました。

意見書提出

◆加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める陳情

陳情者

全日本年金者組合湖東支部

支部長 伊藤 栄

意見書

加齢性難聴は、日常生活を不便利にし、コミュニケーションを困難にするなど大きな支障を及ぼす。聞こえの悪さを補完し聞き取れるようにする補聴器だが、日本は欧米諸国と比べて利用率が極めて低い。この背景には、高度・重度難聴者以外には高額な補聴器に対する保険適用がなく全額自己負担となっていることがある。加齢による難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を要望する。

意見書提出先

- 内閣総理大臣
- 厚生労働大臣

意見書提出

◆新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について(依頼)

依頼者

秋田県町村議会議長会

会長 金子 芳継

意見書

新型コロナウイルス感染症の影響で、地方自治体の財政はかつてない厳しい状況になることが予想される。国において、次の事項を確実に実現されるよう強く要望する。

- ・ 地方税、地方交付税などの一般財源総額の確保と充実。
- ・ 地方交付税は、引き続き財源保障機能と財源調整機能が発揮できるよう総額を確保。
- ・ 令和2年度の地方税収入大幅減少が予想されることから、万全な補填措置。など。

意見書提出先

- 衆議院議長
- 参議院議長
- 内閣総理大臣
- 財務大臣
- 総務大臣
- 厚生労働大臣
- 経済産業大臣
- 内閣官房長官
- 経済再生担当大臣
- まち・ひと・しごと創生担当大臣

請願・陳情について

町政に対するご意見・ご要望があるときは、誰でも町議会に請願書・陳情書などを提出することができます。提出された請願書・陳情書などは、委員会審査され、その結果、願意が妥当であると認め、本会議で採択された場合、町や教育委員会などの関係機関に対する措置要求、国や関係行政庁に対する意見書の提出などを行います。

請願書および陳情書を作成するときの注意点

- ・ 2つ以上の内容について請願および陳情する場合は、それぞれの内容ごとに分けて作成してください。
- ・ 請願・陳情事項および理由は、邦文で分かりやすく書いてください。
- ・ 提出部数は1部です。
- ・ 受付は議会事務局で随時行っています。
- ・ 受理後に内容などの確認を行うことがありますので、連絡先と担当者名をご記入ください。

様式など詳しくは町ホームページでご確認願います。
<https://www.town.gojome.akita.jp/seigantinzyou/816smf.html>



第3回臨時会

令和2年7月10日

物品売買契約の締結と新型コロナウイルス関連の一般会計補正予算について審議した。

提出議案

① 物品売買契約の締結について

・五城目小学校児童用机・イス購入指名競争入札の結果1,197万円

② 令和2年度一般会計補正予算(新型コロナウイルス感染症対策)

・町民に一万円分の商品券を発行のオール五城目応援商品券事業
9,980万円



好評の商品券

・GIGAスクール構想実現に向けて子どもたちの学びを保障できるようタブレットPC500台など購入の学校情報機器整備事業
6,832万円

・県経営安定資金の融資の4、5年目の利子補給をする中小企業経営安定資金利子補給事業
3,000万円

・避難所での感染拡大予防対策物品購入の防災対策事業
2,610万円

・対象大学生など一人につき5万支給の学生等応援給付金事業
752万円

・朝市や直売所、学校給食などに出荷している方に2万円支給の農林産物加工品等出荷応援支援事業
373万円

・学校の新型コロナウイルス対策のため、非接触体温計やマスク、消毒液などを購入の、学校保健特別対策事業
213万円

・4、5月の保育料を全額助成する、すこやか子育て応援給付金事業
100万円

・すずむしクラブ、わかすぎクラブ利用児童の感染予防対策の、放課後児童健全育成事業
73万円

・園児の感染予防対策
子ども・子育て支援費負担金
50万円



町の宝である子どもたちを守る施策を

第5回 議会議員 全員協議会

令和2年7月10日

協議事項

・学校の情報環境整備について
・新型コロナウイルス感染症対策について
(内容は上記臨時会提出議案をご参照下さい。)

第6回 議会議員 全員協議会

令和2年8月26日

協議事項

・新型コロナウイルス感染症対策について
これまでの経緯と町の対応
新たな緊急支援対策事業
(内容はP2、9月定例会補正予算をご参照ください。)

決算特別委員会 報告

令和元年度一般会計・特別会計を全会一致で認定



予算が適正、効果的に町民のためになっているか審査



委員長
齋藤 晋

決算特別委員会とは

決算特別委員会は、決算が議会に提出された際、その審査のために設置される。町議会では9月定例会で、委員会を設置し一般会計決算、特別会計各決算、水道会計決算が提出され審査する。今年度は各常任委員会から3名が選出され6名の委員で構成された。

審査日程

決算特別委員会

参 与	委 員	委 員	委 員	委 員	副 委員長	委 員 長
石川 交三	工藤 政彦	椎名 志保	石井 光雅	館岡 隆	荒川 滋	齋藤 晋

(議会議長)

9月14日(月)

午前 委員長・町長挨拶
審査方針説明
消防本部・税務課
議会事務局
午後 健康福祉課

9月15日(火)

午前 出納室・農業委員会
農林振興課
午後 住民生活課・商工振興課
建設課

9月16日(水)

午前 まちづくり課・総務課
午後 生涯学習課・学校教育課

9月17日(木)

午前 現地視察
浄水場
災害復旧現場(大四郎沢)
雀館幹線排水路
雀館公園樹木管理
五城目小学校工事現場
午後 委員会、決算認定について採択
審査総括

標準財政規模が下がり、実質公債費比率・将来負担比率が上がり、財政硬直化が進む

中期財政シュミレーション（五城目町）

標準財政規模 前年度97%で試算

（単位：千円、%）

区 分	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R10	R11	R12	
標準財政規模	3,523,066	3,524,326	3,634,764	3,525,721	3,419,949	3,317,351	2,848,722	2,763,260	2,680,363	
元利償還額	令和元年度末残高に係る年度別予定額	612,482	615,123	601,687	606,410	595,456	581,572	365,829	302,509	237,724
	令和2年度以降発行債に係る年度別予定額	0	0	0	19,132	31,725	42,091	231,417	257,051	282,685
	合計	612,482	615,123	601,687	625,542	627,181	623,663	597,246	559,560	520,409
準元利償還金の額	219,844	205,324	205,324	205,324	205,324	205,324	205,324	205,324	205,324	
(参考)公債費に準ずる債務負担行為に係る支出額	1,148	933	365	363	360	358	76	76	26	
公債費比率	7.9	8.2	7.7	8.5	8.8	9.1	9.6	9.1	8.4	
起債制限比率（3カ年平均）	5.2	6.2	6.7	6.9	7.0	7.3	7.8	7.6	7.3	
実質公債費比率（3カ年平均）	8.9	10.1	10.3	10.3	10.4	10.6	11.5	11.4	11.2	
実質公債費比率（実際の計算年度）	10.4	10.6	9.9	10.5	10.7	10.7	11.7	11.3	10.8	
将来負担比率	77.5	70.4	106.2	113.3	119.2	123.9	144.8	149.2	154.5	

目安となる早期健全化基準（%） ・実質公債費比率 25.0 ・将来負担比率 350.0

決算審査 総括

今後は、標準財政規模が下がり、実質公債費比率・将来負担比率が上がり、財政硬直化が進むとの「中期財政シュミレーション」が示されており、財政の健全化に向け町長を先頭に職員が一体となり、危機意識を持ち町民のために、財政の健全化を進めなければならない。また、長期計画の見直し、新規事業の中止などの決断を検討する必要もある。

自主財源確保のため、収入未済額を不能欠損にしないよう、真剣に知恵を絞り各職員の職務の執行を願う。

厳しい指摘ばかりでなく、成果も見つかった。

- ①税などの徴収率が多少上がった。
- ②不能欠損、収入未済額が少し減った。
- ③介護予防を推進し成果が出て来た。
- ④ジェネリック医薬品の推奨の成果が出ている。
- ⑤シェアオフィスに7団体が入居した。
- ⑥ドチャベンジャーズの活動により2業者が本町部に事業展開中。
- ⑦小学校の改築が順調10月完成予定。
- ⑧コロナ禍において通常業務と平行にコロナ対策を遂行などを総括として報告した。

◆標準財政規模◆

地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう経済的一般財源の規模を示すもので、標準税収入額に普通交付税を加算した額。

◆実質公債費比率◆

地方公共団体の一般会計等が負担する、元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模を基本とした額に対する比率。

◆将来負担比率◆

地方公共団体の借入金（地方債）など現在抱えている負債の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合。

総務産業 常任委員会

公共施設の連携を オンラインで円滑に



オンライン会議（イメージ）

これまで新型コロナウイルス感染症による3密回避のため、一堂に会しての会議が行われていない。今後も感染予防は長期にわたり必要であることから、公共施設の連携を円滑に結ぶことが出来る「オンライン会議」を進める。

委員からは、「場所の9カ所はどこになるか。」と質問があり、「役場・消防署・町民センター・馬場目公民館・内川公民館・富津内公民館・馬川公民館・森山公民館・大川公民館の9カ所で会議を行えるようになる。」と説明があった。

タブレット端末 90台

1,029万円

小学校新校舎の通学路の安心安全対策

通学路の安全調査を実施。危険箇所での事故を防ぐための工事をする。

委員から、「橋の歩道はどのような工事内容か。」と質問があり、「木レンガを撤去して舗装にする。」と説明があった。



馬城橋歩道の木レンガ

また委員から、「通学路のカーブの養護にも対応して欲しい。」と要望もあった。

馬城橋歩道の整備と中央線のケヤキ2本を除根と伐採する。

工事費321万円



中央線、ケヤキの根上がり

ふるさと納税「楽天」、 「ふるナビ」にも参入

ふるさと納税推進で地元産の販売促進を図るため、返礼品金額を20%から25%に増額する。楽天・ふるナビ参入で手数料が割高になるが、返礼品としての地元産物が多く納品出来るようにしたい。

委員からは、「返礼率が高くなるとサイトに表示されるか。」と質問があり、「画面からは分からない。」と説明があった。委員か

ら手数料を問われ、「楽天9%・ふるナビ10%。現在のふるさとチョイスは5%だが、納税数は頭打ち状態である。」と説明があった。

楽天・ふるナビにかかる経費

236万円

教育民生 常任委員会

全町民へ インフルエンザ対策



地域医療との連携を

冬に向けた新型コロナウイルスとインフルエンザの併発リスク対策として、全町民へインフルエンザワクチンの無料クーポンを配布する。委員からは、「ワクチンが人数分確保できるのか。また重篤化リスクの高い幼児・妊婦や65歳以上の高齢者に限り、助成するほうが望ましい

のではないか。」と質疑があり、当局からは、「全町民を無償化することで接種率を上げ、感染リスクを避けるもので、近隣の病院と連携し、昨年以上にワクチンを確保してもらえるようお願いしている。優先すべき対象年齢層が接種期間の早期に接種できるようにしたい。」との説明があった。

「町民への情報周知とワクチンの確保に努力してほしい。」と指摘し、賛成多数で可決すべきものとした。

ICT教育環境が充実

来春から児童生徒一人ずつにPCが配布される。調べもの学習や探究授業の

充実が見込まれ、また、一人ひとりの学びに応じたオーダーメイド型の学習スタイルが広がることも期待できる。教員もPCタブレットを活用

地域図書室の建設が進んでいる。当町の現在の貸出冊数は町民一人あたり年間0.2冊。貸出冊数が10冊にも及ぶ全国でも利用率の高い図書館に比べ、圧倒的に少ない。委員からは、「司書の配置

など町民が利用しやすい魅力的な図書室にできるよう検討してほしい。購入予定の1,500冊の図書の選定に町民のリクエストを反映してほしい

魅力ある地域図書室に

い。」と意見があった。

当局からは、「当初は、司書は置かず、臨時採用の事務職員1名が業務にあたることになる。今後、図書室が賑わえば司書を置く必要性も増すので、町民にどんどん利用してほしい。本のリクエストは現在の図書室にて受け付けているが、広報紙に載せることもできる。」との説明があった。

の成果目標・費用対効果などを設定するように」と指摘があった。

する授業づくりの研修を受けており、町全体でICT活用の機運が高まりつつある。また、放課後や休日の地域図書室でのPC活用も視野に入れており、委員からは、「新校舎での学習が始まるまでにICTを活用した具体的な学



一人一台のPC環境が当たり前

(松浦 真)

一般質問

6議員が登壇 我が町政を問う

一般質問とは？

- 年4回の定例会において、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。
- 答弁を含む一人当たりの持ち時間は60分で、事前通告制が採用されています。
- 質問をするかしないかは、議員個人の判断によります。

質問者

工藤 政彦 議員

- 防災・減災対策について「治水対策の状況は」
- 介護職員初任者研修受講料の助成金交付について
- 道路の維持管理について

松浦 真 議員

- コロナ禍における国際教育プログラムの充実
- 農林業、地元企業の振興、若手育成
- ICTによる地域医療、介護、保育の充実
- 地域図書室整備事業

椎名 志保 議員

- 新型コロナウイルス感染症対策について
- 第7期介護保険事業計画の振り返りと第8期の見直しについて
- 移住・定住対策に具体的な施策を
- 職員が研修を受けやすい環境作りを

荒川 滋 議員

- 新型コロナウイルス感染症関連について
- 防災とハザードマップについて
- 消防本部について
- 朝市について
- 五城目小学校新校舎と地域図書室について

畑澤 洋子 議員

- コロナ禍における「災害時の避難と避難所の運営の在り方」について
- 町子育て世代包括支援センターの充実を

斎藤 晋 議員

- 町のコロナ対策について
- 町内の空き家対策について
- 議員の社会保険加入について
- 除雪について
- 町民の困りごと処理について

* 誌面の関係上掲載できなかった●印の質問については、町ホームページにて議会映像を配信しておりますのでそちらをご覧ください。

五城目町議会映像配信中 www.gojome-town.stream.jfit.co.jp



意義ある発言機会は大事な議員活動の場といえます。

議会を傍聴してみませんか？

傍聴の手順をご紹介します。事前連絡は不要です。

- ①役場4階へ上がります。
(エレベーターをご利用ください)



- ②議会事務局前で受け付け。
(受付表に必要事項を記入)
(手指の消毒剤あります)



- ④町の方向性を直接聞くことができます。
(開会中はお静かに願います)



- ③階段で傍聴席へ。
(定員40名)



※新型コロナウイルス感染拡大の防止および、傍聴におこし下さる皆様の健康を守る観点から、当分の間、傍聴を自粛いただく場合がございます。お問い合わせ先 議会事務局 018-852-5411

介護職員初任者研修の 受講料に助成を

一般質問

町長 前向きに検討する



工藤 政彦

工藤 少子高齢化問題が深刻な中、町内の事業所では、介護職員の確保に苦慮している。資格取得のために頑張っている町民に対し、介護職員初任者研修の受講料などの助成金を交付できないか。

町長 介護人材を質と量の両面から確保することにより、介護が必要になっても、地域で安心して、質の高い生活ができる社会の実現を目指すことが必要と考えている。県内でも受講料などの助成を実施している自治体や地元介護事業所に就職予定の高校生に対して、全額助成をしている自治体もあることから、前向きに検討する。

工藤 介護職は、仕事の内容が大変なことから、若者には敬遠されがちな職業だと聞く。それでもその職を目指そうとする町民がいる。そういった若者などに対し手厚い対応を願う。

防災・減災対策は

工藤 大雨による住宅などの浸水被害の要因は、河川の氾濫があるように思う。町を流れる県河川の治水対策は進んでいるか。

町長 被害のあった帝釈寺から久保地区、湯ノ又地区、富田地区の人家のある冠水地区の河川改修を県工事として進めている。

工藤 近年の水害は経験のない豪雨で、従来の河川の排水機能では追いつかない状況が生じやすくなっているように感じる。馬場目川の昭辰橋付近から西野橋までの区間、堆積された土砂（中洲など）の除去と雑木の伐採を早期に望む。

町長 状況を確認し、被害が及ばないように県に対し、雑木伐採と洲ざらいの要望活動を続けていく。

工藤 昨今の気候変動により、いつ何時災害級の大雨に見舞われるか分からない。川幅が狭まった箇所から氾濫があれば周囲の人家に大きな被害が及ぶ。「川は心の故郷」という言葉を耳にするが、それに反し、川が人命や財産を奪うことがあってはならない。早急に対応を求める。



五城目橋から磯ノ目大橋方向を望む

道路の維持管理は

工藤 ケヤキ並木・おしゃれな街灯が連なるなど、メインストリートである中央線（県道秋田八郎潟線）は、交差点箇所のある破損により危険な状態だ。10月末には、五城目小学校の新校舎も完成予定であり、通学路にもなる。早急に修繕を。

町長 今定例会に敷石部分の破損箇所の補修と馬城橋の木レンガ部分の改修工事予算を計上した。早急に改修工事にとりかかる。

工藤 街中の植樹帯などの刈り取った後の草がそのままの状態である。風で飛んだりして景観上よくない。

町長 国道285号と県道秋田八郎潟線のことと思う。植樹帯の管理は県の管理である。今後、県に刈り取り後の対応をお願いする。

工藤 車道の舗装道路の破損箇所の改修を。

町長 軽微なものであれば青空号作業員で穴埋めをしている。規模が大きくなれば、業者委託により改修工事を行い、全面的に改修が必要な場合は、交付金事業や起債事業の計画に組み入れ舗装改修を行っている。



痛みの激しい中央線の歩道敷石

一般質問

ICT中心の 学びの目標設定は

教育長 2学期が始まるまでに策定



松浦 真

**一人一台のPC
500台を有効活
用するには**

松浦 オンライン前提の学びの具体的な構想や目標設定の策定はいつか。

教育長 現在策定されておらず、小中学校の2学期までに策定する。

**サテライト拠点での
学びの可能性は**

松浦 国際理解教育の継続的な学びの機会を保障するために、公民館などを用いたオンライン学習のサテライト化は推進していくのか。

教育長 今後、国際理解教育をさらに充実させるために、公共施設を活用してのサテラ

イト教室の実施などについては、今後検討する。

ICTを活用した交流の仕方や外国語教育など、子どもから大人まで一貫した教育プログラムを開発できないか、調査研究する。

農林業の 若手育成を

町長 就農前に、秋田県農業試験場での研修を行っている。また、農業機械の取得など秋田県の農業人材の育成をはかっていく。

就農時においては、農業機械の町のかさ上げ補助を実施する。

経営支援も同時に行い、野菜などの他の作物を育てる複合経営などの提案も行っていく。

**職員のリモート
ワーク化から生ま
れる可能性は**

松浦 町有施設間でのWEB会議など対応機器整備事業に1,029万円をかけるが事業の具体的なKPIは。



公民館をリモートの拠点に

町長 町内での研修事業ができなくなったことで、WEB会議の必要性があるため、地区公民館機能の充実をはかる。まずは基盤整備が重要になっていく。国が勧めている新しい生活様式には、ICTの活用が必須となる。環境が強化された段階で、目標やKPIは考えていく。地区公民館相互のコミュニケーションが図れるようにしていく。

※KPIとは重要業績評価指標の事です。

地域図書室の充実を

松浦 地域図書室整備事業で298万円の予算を使い、500冊の本を購入すると聞いた。図書室の本の選定を町民に開かれたオープンなものにできるか。

教育長 これまでの実績と利用者みなさんからのリクエストを中心に町独自の特色ある本の選定を進めていく。また、町の広報誌に町民による選書も載せる可能性がある。

松浦 町民に知ってもらいためにぜひ広報誌を活用してほしい。



建設中の地域図書室

一般質問

コロナ感染、誹謗中傷 禁止の呼びかけを

町長 決して許されるものではない



椎名 志保

椎名 新型コロナウイルス感染者や家族、医療従事者に対する人権侵害は、今や大きな社会問題だ。誹謗中傷の禁止、デマに注意といった呼びかけを町として強く発信すべきではないか。住民が混乱することのないよう適切な情報開示と合わせ、県に対しても対策を求めていくべきではないか。

町長 新型コロナウイルス感染症には、誰もが感染しうる事態である。お互いを思いやる気持ちと冷静な行動が求められ、引き続きマスクの着用、こまめな手洗い、3密回避をお願いする。町として公にできる情報は、ホームページ、広報などで発信に努める。

介護保険事業 第8期どう進める

椎名 今年度は第7期介護保険事業計画の最終年である。これまでの振り返りはどうか。

町長 平成30年度、令和元年度共に介護認定者数、介護予防サービス、介護サービス全体の給付費は減少している。介護予防に対する意識が高まってきたことが、認定者数と給付費の減少につながったものにとらえている。

椎名 地域の中で介護予防を進めていくためには「生活支援コーディネーター」の活用が、より必要だ。増員を含め、地域包括支援センターの人員補強をすべきではないか。また、町主催の予防教室、自主グループでの介護予防事業には、健康運動指導士などの専門家の指導に加え、体育協会や町の人材を発掘・育成し、活用されてはどうか。



住みなれた地域で暮らし続ける幸せ

町長 町内会地区単位で介護予防環境を整えられるようコーディネーター増員のための人材発掘・育成を進めていく。生涯学習課とも連携を図り、体力年齢の若い時期から介護予防につながる各種スポーツ教室の開催を行っていく。

椎名 第8期をどう展開していくか。保険料の設定は。

町長 現行施策の検証、概況データの整理を終え、今後、人口推計、サービス量の推計、調整などを行い、策定委員会にはかりながら進めていく。保険料の設定は、12月に示す予定である。

移住・定住対策に 具体的な施策を

椎名 若い世代が移住・定住するためには雇用の場が必要だ。検討を進めていた3事業は、どうなっているか。

美郷町がアウトドア用品の大手企業を誘致したように、森山の活用など地域特性を前面に押し出した企業誘致に取り組んではどうか。

町長 ウィスキー蒸留を行う企業については、誘致を継続していく。きのこ栽培、黒毛和牛肥育を行う企業は、新型



いろいろな活用が期待される母なる山

コロナウイルス感染拡大の影響を受け、事業が進展できない状況である。

美郷町のような誘致活動の方法について調査検討を行う。

椎名 移住・定住の決め手となる住まい確保のため、空き家活用推進事業を用いて具体的な施策に取り組むべきではないか。また、町外に移り住む若い世代が後を絶たない。引き止める具体的な手立てを講じるべきでないか。

町長 利活用可能な空き家に、いかに付加価値を付けて移住・定住希望者に魅力ある空き家にするかが、今後の課題である。若い世代の移住・定住を推進することを含め、第2期地方創生総合戦略を展開しているところであり、新たな取り組みなども検討していく。

消防職員は町在住 居住要件の制定を

一般質問

町長 町在住、出身者の受験を強く望む



荒川 滋

県内13消防本部では、 本町のみ

荒川 役場・消防間での職員異動が行われなくなつた経緯と今後の方針は。また多発する災害対応の観点から、消防職員は町内に居住すべきだ。職員採用にあたり住所要件を設けていないのは県内で本町消防本部だけで極めて特異だ。来年度の採用募集から、町内居住の要件を設けるべきと強く求める。

町長 役場・消防間での職員異動は職務の特殊性により一般職とのすみ分けを図るため平成24年以降はおこなつておらず、今後もない。居住要件は町単独消防本部であることから定めておらず、町在住または町出身者の積極的な受験を強く望み周知に努める。

年3回の臨時朝市の 必要性を検証すべき

荒川 年3回の臨時朝市（5月4日祭市、8月13日盆市、12月31日歳の市）は、出店者、来場者共に非常に少ない。時代の変化に合わせ見直すべきでは。

町長 長年続けてきた臨時朝市は大切な開催日であり、これからも継続する。

荒川 朝市出店につき、生産者と売り手の分業とマッチングの仕組み作りを。



閑散とする8月13日『盆市』

危険区域居住者への あらためて周知を

町長 生産者の顔が見える商いは朝市の魅力であるが、出店掘り起こしのため生産者の方々と、今後の出店・代理販売の可能性とマッチングの仕組み作りについて話し合いを進める。

荒川 土砂災害警戒区域、特別警戒区域内に居住の方で認識していない方が多く、避難勧告を発令しても届いていない事実がある。新ハザードマップ発行に合わせ、改めて確実に周知する必要がある。避難状況調査も実施すべきだ。

町長 様々な方法で周知に取り組んできたが、今後はより直接的な方法での伝達も検討する。避難状況調査もタイミングをみて実施したい。

荒川 町の新ハザードマップには、河川の氾濫とは異なる、内水氾濫の浸水域も反映させ現状に即したものにすべきだ。

町長 平成30年5月の豪雨の実績をもって危険区域としてハザードマップに掲載する。

新小学校に隣接のグラ ウンドの整備内容は

荒川 雀館運動公園多目的広場は小学校移転に伴い整備されることになるが、内容と時期は。

教育長 表土の補充と野球ベース位置の後退。（両翼75mを確保。）工事時期は令和3年の学校夏休み中を予定。



安心して運動できるグラウンドへ

荒川 8月におこなつた新通学路合同点検の結果と今後の対応は。

教育長 危険箇所を確認した。馬城橋の木レンガ、歩道の石畳、歩道に侵入の雑草、横断歩道設置、降雪時の対応など、関係機関と連携して児童の安全確保に努めていく。

一般質問

町子育て世代包括支援 センターの充実を

町長 オンライン相談できめ細かな サポートを実現する



畑澤 洋子
(公明党)



「母子モ」アプリでオンライン相談中のママ

畑澤 コロナ禍での妊娠中・出産後・子育て中のママは、感染を恐れて外出を極力控えている。課題が大きくなる前に、きめ細かな支援を届けるには、表情や目線から緊急の度合い・精神的影響を見極めることが出来る「オンライン

相談」が効果的だ。数人でのオンラインサロンも視野に入れ「母子モ」オンラインを活用してはどうか。

町長 新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、訪問・面談・相談がしづらい状況にあるなか「母子モ」を活用したオンライン相談は、感染リスクを抑えた形で面談することが可能となり、不安の解消やリスクの発見・適切な支援にスムーズに繋げる手段として重要なものと考えられる。実現に向け環境整備に努める。

「ママサポート119」で万一の時の迅速な支援を

畑澤 消防署と連携し、出産の緊急事態に、事前に登録した妊婦を救急搬送する「ママサポート119」で町子育て支援センターの充実を。

町長 妊婦の緊急時の搬送の際に、消防署と事前に情報共有することで、連絡の短縮や迅速な対応が可能となる。出産を控えた妊婦の不安の解消と安心・安全な出産のサポートを行うサービスとして重要と考える。

「避難と避難所」

畑澤 8月8日。町では豪雨災害を予測し787世帯、1823人に避難勧告を出した。避難勧告者名簿が存在するののか。

町長 町の「避難勧告の判断・伝達マニュアル」にあらかじめ危険箇所に住んでいる世帯数・人数が記載されている。これが根拠になっている。

畑澤 独居老人・障害者避難を支援する人を明記してあるののか。

町長 避難勧告の判断・伝達マニュアルに名前は明記されていない。発信によって対象者全員が避難するのは難しいことは承知している。情報を得ることが難しく自分が避難すべきかわからない方もいる。個人では対応が難しい方もいる。課題の解決は、近所や地域の助け合いで声掛けし一緒に避難するなど、あらかじめ支援者を決めておくことが必要である。町内会や自主防災組織の活動の中で体制を整えていけるよう努力していく。

町ホームページのハザードマップをWeb版に

畑澤 町ホームページ「もしもの時に」にアップされているハザードマップは、スマホ拡大でぼやける。Web版で対応を。

町長 防災学習記事を盛り込んだ新ハザードマップ（防災マップ）を作成中。令和3年4月に全戸配布をする予定だ。

手元に冊子がなくても、スマホなどで危険箇所を確認でき冊子版マップのページ区切りなく閲覧可能な「Web版」も用意する予定だ。

子どもたちの コロナ対策は大丈夫か

一般質問

町長 可能な限り感染予防を行う



齋藤 晋



子どもたちのために十分なコロナ対策を

**こども園・小学校・
中学校のコロナ対
策は**

町長 予防対策としては、朝の検温・手指の消毒・手洗い・うがい・マスクの着用といった基本的な対策のほか、換気に努める、椅子の間隔を空ける、子どもたちが触れる箇所を消毒、小中学校の行事など

の取りやめや縮小、部活動などは可能な限り予防対策を行った上で練習を行い、県内の状況を見ながら必要と判断すれば練習試合や対外試合を控えるなどの措置をとっている。その他、教職員や支援員へマスクや消毒液、フェイスガードなどを支給、物資が途切れぬよう感染予防を行っている。

町民の困りごとはどこに相談したらいいの

齋藤 町民は最後の砦として役場へ困りごとを相談に来る。しかし、担当課でないとならいいにされることもある。これでいいのか。役場の縦割りを改善すべきだ。

町長 町民の相談にその場で解決するのが理想である。相談の内容が法的に専門的なものであれば、最新の情報のもと相談を受けるのが最善であり、担当者への紹介となる場合がある。ただ、今後も町民が安心して相談できる環境づくりと職員のスキルアップに努める。



まっ先に困りごとを受ける窓口

**町内の空き家対策は
進んでいるか**

齋藤 空き家が目立つが、町の空き家対策は進んでいるか。空き家の数と利活用に向けての状態は。

町長 全体で292件である。内訳は、利用可能が22件・一部修理で利用可能が112件・利用困難が158件である。

**空き家対策の担当
は、町を知り尽く
した「再任用の職
員」が良いのでは**

町長 再任用職員は、豊富な見識と行政経験を有し、町内の地理にも精通しており、空

き家対策にはベターである。しかし、職員配置は職員の能力を見極め、適材適所を基本に配置したい。

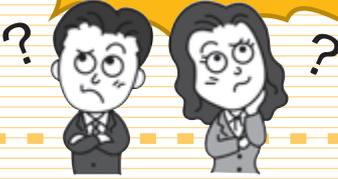


空き家の対策に再任用職員を

- その他に
- コロナの誹謗中傷対策は。
 - 役場庁舎内のコロナ対策は。
 - 職員の県外出張に対するコロナ対策は。
 - 空き家対策の進め方は。
 - 議員の社会保険加入。
 - 除雪の改革はあるか。
 - 除雪オペレーターの待遇改善について。
 - 除雪オペレーターの確保は大丈夫か。
- などを質問しました。



あれ



なんとなくだったべが!

令和元年9月定例会一般質問より

問

高崎地区農地基盤整備の進捗状況は。

1年前の答弁 高崎地区は受益面積が44ha、概算事業費は4億3,200万円、少しでも早い完成を目指して県に要望していく。

現在 町では、「秋田県における圃場整備事業の実施方針」に基づき、農地中間管理事業関連の圃場整備での実施を進め、地元基盤整備組合へは、役員会などで説明している。組合では現在、登記情報を基に土地所有状況や相続関係などの確認作業をし、町としては今後農業公社との賃貸契約、法人設立などを進めることにより100%補助として早期着工に向け、県に働きかけをしている。



高崎地区の圃場整備予定地

問

町が預かっている、各種団体の事務局を今後どうする。

1年前の答弁 現在42団体の事務局を町が担っている。本来独自の事務局で運営することが理想である。職員の事務改善の点からも現金を扱う会計事務については、職員が直接従事しないよう検討する。

現在 各種団体の事務局運営については、各団体の事情を考慮しながら会計事務の移行を優先し調整しているが、これまで移行に至った団体はないことから、今後も、引き続き事務局の在り方を検討するとともに各団体との調整を図って行く。

問

町民が利用できる野球場の整備を。

1年前の答弁 中学校に隣接する町営球場の適切な維持管理、学校優先ではあるが部活動休養日などに気軽に利用できるよう調整を図る。また近隣市町村の類似施設の広域活用を検討する。

現在 中学校に隣接する町営球場の利用については、気軽に利用できるよう中学校と連携を図っている。
近隣市町村の類似施設の広域活用については、引き続き検討中。

問

50歳以上の町民に、带状疱疹の予防接種費用を補助すべき。

1年前の答弁 予防接種をすることで、発症率の減少と痛みを軽減する効果が報告されている。助成について今後検討する。

現在 現在、带状疱疹の予防目的で使用されている水痘ワクチンは生ワクチンであるため、抗がん剤使用中や免疫抑制剤を服用している方には接種できないとされている。2020年1月に発売された新しい带状疱疹ワクチンは、免疫力の低下した方にも接種可能であり、予防効果も高いとされているが、接種後の副反応が懸念されることから、今後の国の動向を注視しながら安全を第一に考え、検討を進めて行く。

よび
きて
けた
な



「多様な関係性が 安心に」

○いつ、どんなきつかけで
五城目へ

出身は潟上市飯田川です。20代後半から東京で生活していましたが、震災をきっかけに暮らしの見直しを考え始め、家族の事情もあって2012年にUターンしました。その後、五城目で農業に関わるようになったこともあり、2014年に五城目町に転入。現在は谷地中に住んでいます。



地域おこし協力隊と交流 (中央)



のりひこ
鈴木 矩彦さん
(谷地中)

○五城目で生活していて
感じる点

生活のあらゆる面で、とにかく地域の人たちが助けてくださる事が多く、本当にありがたいと思っています。家族や友人、仕事などの型に収まらない、いろんな形の人間関係が縦横無尽につながっているように、それが東京での生活にはなかったような安心感を与えてくれている気がします。

○これからに向けて

子どもも大きくなってきたので、少しずつ自分の時間を持つようになるように、気持ちの余裕も出てきたので、五城目での暮らしの中にもっともっと自分自身の楽しみを見つけていきたいです。またそうしていく中で、なにか地域に恩返しできるようなこともできたら、と思っています。

(松浦 真)

がんばってます 特別編

おじいちゃんの畑が大好き



金子 彩子さん

上海で生活しておりますが、新型コロナウイルスの影響で今年2月から五城目町の実家で暮らしています。気付けば半年以上経ちました。息子はすっかり町に溶け込み自然の恵みを受けてすくすく育っています。

おじいちゃんの畑が大好きで、いつも目を輝かせては興味深く観察しています。大自然の中でいつの間にか遊ぶスキルを習得し遅しく成長しています。

地域のイベントやサポート支援などが大変重要だと感じてます。今は週に数回、大川保育園の一時保育を利用してあります。面接で

どんな用事でも気にせず預けて下さいと笑顔で接していただけたことが、今でも支えになっています。幼いうちから沢山の人と関わりながら楽しく社会性を学んでほしかったので、貴重な場がある事に感謝しています。

本来の生活には未だ戻れそうにありません。父親と離れた状況ですが、最近ほりモート絵本の読み聞かせを楽しんでいます。どんな環境でも明るく前向きな姿勢を大事に家族で成長していけたらと思います。

五城目町でのびのびと過ごせている時間が、息子の実り多い人生に繋がるように願っています。

(工藤 途子)

編集

後記



記録的な猛暑からようやく解放され朝夕はすっかり過ごしやす季節となりました。農作地には黄金色の稲穂が実り今年の豊作も願っております。

第99代内閣総理大臣に、秋田県出身者として初めて菅義偉氏が誕生しました。これまで頑張った結果、政治の世界の最高峰の内閣総理大臣にまで上り詰めました。継続して努力すれば夢を実現できることを証明してくれました。

新型コロナウイルスの影響でふるさとへ帰省ができない家族が多数いたと思います。今回「がんばってます特別編」のご家族もお父さんと過ごせませんでした。今まで当たり前だったことが当たり前でなくなってきました。

今こそ町民が支え合って困難を乗り越えていくことが大切だと思います。皆様に頼りにして頂ける議員として広報委員として成長していきたいと思っています。

工藤 途子 記

